

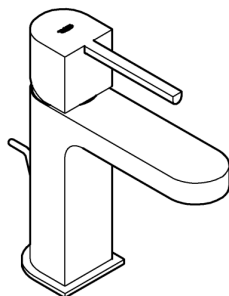
## GROHE PLUS 洗面混合栓取扱説明書(お客様用)

- このたびは、GROHE製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書(付属の保証書)はお読みにになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次にご使用される方にこの説明書と別添の保証書をお渡しください。

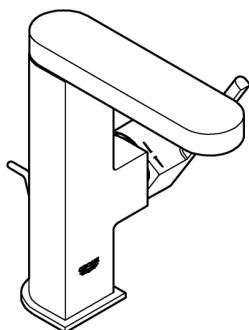
### 工事店さまへのお願い

この取扱説明書と、別添の保証書に貴店名ならびに  
取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。

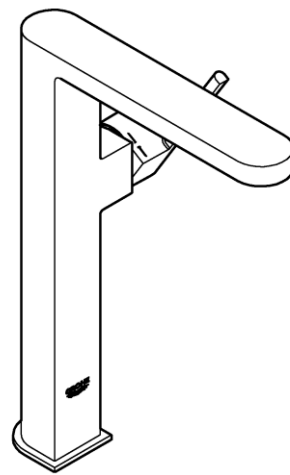
#### Sサイズ



#### Mサイズ



#### XLサイズ



#### もくじ

安全上のご注意	.....	2
各部の名称	.....	4
ご使用前に	.....	4
ご使用方法	.....	5
お手入れ方法	.....	6
日常のお手入れ	.....	7
冬期凍結の恐れがある場合	.....	7
定期的な点検	.....	8
修理を依頼される前に	.....	8
定期的な部品交換	.....	9
アフターサービスについて	.....	9
認証登録番号	.....	9

# 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

## 用語および記号の説明









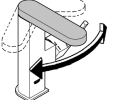
<b>警告</b>	「取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」		
<b>注意</b>	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」		
	「注意しなさい！」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)		
	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)		「分解してはいけません！」
	「指示した場所に触れてはいけません！」		「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)

## 警告: ヤケドをしないために

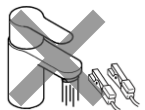
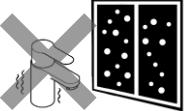
 禁止	<p>小さいお子さまだけの使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをする恐れがあります。</p>	
	<p>他所の水栓と同時使用しないでください。 ※同時使用すると、圧力変動により湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>給湯機器の温度設定は65℃以上で使用しないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。 なお、誤動作などによるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。</p>	
 接触禁止	<p>高温の湯をお使いのときには、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 指示	<p>高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流して下さい。 ※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>定期的に配管の漏水やガタツキが無いか確認して下さい。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。</p>	
	<p>お湯をお使いになる時には、必ず水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。 ※湯側から先に開栓すると高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。 ※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。</p>	

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意: 正しくお使いいただくために

	<p>水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。          ※商品の内部腐食により、漏水の原因になります。          ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水を言います。          ※水道水・飲用可能な井戸水でも水アカの付着・緑青の発生で回転不良・温度調整不良のおそれがありますので、定期的なメンテナンスが必要です。</p>	<p>水道水のみ OK</p> 
<p>禁止</p>	<p>衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。          ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。</p>	
	<p>オーバーフロー穴のないタイプの手洗器・洗面器と組み合わせる場合、あふれ防止のため吐水中はその場を離れないでください。          ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
	<p>キャビネット内のものを出し入れするとき、給水・給湯ホースに引っ掛けるなど、ホースに無理な力が加わらないようにしてください。          ※給水・給湯ホースの外れや、損傷による漏水の原因となります。</p>	
	<p>レバーハンドルや吐水口、引棒周辺に直接水をかけないでください。          ※家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
<p>分解禁止</p>	<p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。          ※ケガをしたり、故障・破損のおそれがあります。</p>	
<p>指示</p>	<p>ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。          ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
	<p>めっき面のハガレはそのまま放置しないでください。          ※めっき面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。</p>	
	<p>日頃から、ときどき吐水口を回してください。          ※水アカなどが付着し回りにくくなります。無理に回そうとすると、漏水の原因になります。</p>	

## ⚠ 注意: 凍結防止のために

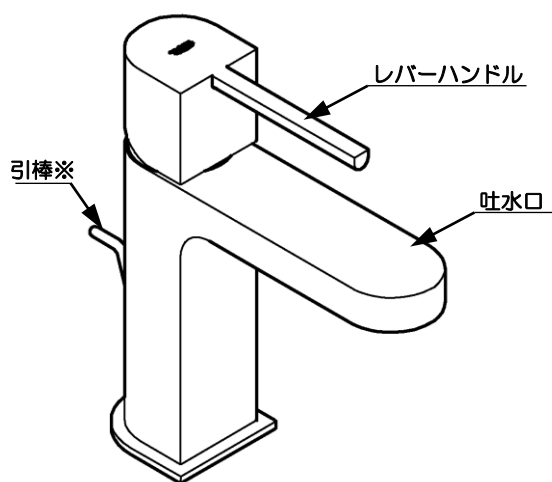
<p>禁止</p>	<p>凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。          ※発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
<p>指示</p>	<p>【一般地の場合】凍結の恐れがあるときは、凍結予防の措置を行って下さい。          ※変形したり故障して、漏水の原因となります。          【寒冷地の場合】配管と水栓の水抜き操作を確実に行って下さい。          ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

## 各部名称

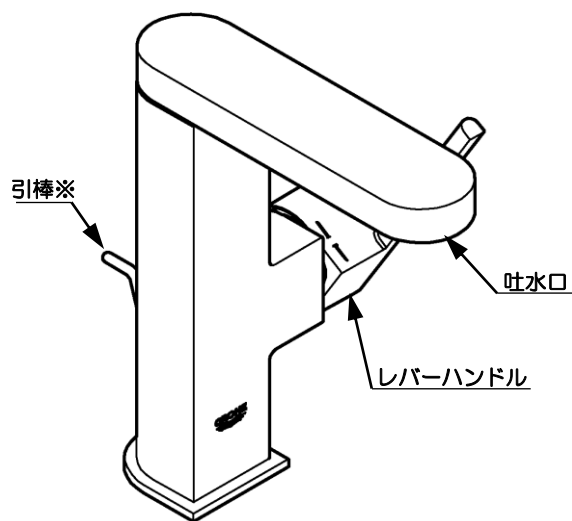
品番・シリーズによっては、図と現品の形状が異なります。

### 洗面水栓

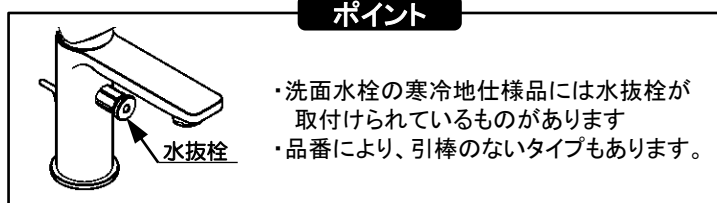
#### 上部レバータイプ(Sサイズ)



#### サイドレバータイプ(M・XLサイズ)



#### ポイント



- ・洗面水栓の寒冷地仕様品には水抜栓が取付けられているものがあります
- ・品番により、引棒のないタイプもあります。

## ご使用前に

- キャビネット内の止水栓が開いているか確認してください。  
閉まっている時は止水栓のハンドル(レバー)を左に回し、開けてください。  
※図は縦型止水栓で記載されておりますが、横型止水栓についても同様です。



## 給湯機器と組み合わせてご使用の場合

- 比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温にしてください。
- 能力切替付の給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。  
※吐出量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- 給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。  
このときは、給湯器の設定温度(能力切替付は能力)を少し上げてお試してください。

# ご使用方法

## 開閉レバーハンドル

開閉レバーハンドルを操作することにより、湯水の吐水量と吐水温度の調整を行うことができます。

### 注意

- ・レバー操作はゆっくりと行って下さい。  
※急激な操作をすると水栓または、配管部で音がでたり、吐水温度が急激に変わります。  
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- ・高温をお使いになる時は、必ず水側に開閉レバーを回してからゆっくり湯側開閉レバーを回して、お好みの温度に調整してください。

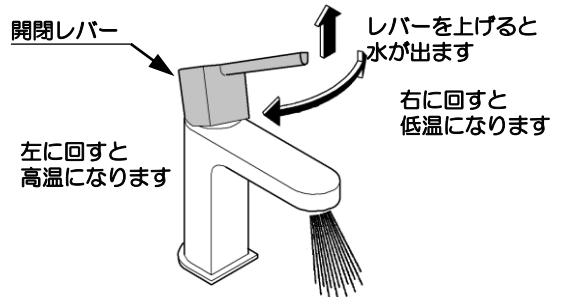
## 上部レバータイプの開閉および水量調節

### 【開閉および水量調節】

- レバーを上にあげて → 水が出ます
- レバーを下にさげて → 水が止まります

### 【温度調整】

- レバーを左側に回して → 湯(高温)になります
- レバーを右側に回して → 水(低温)になります



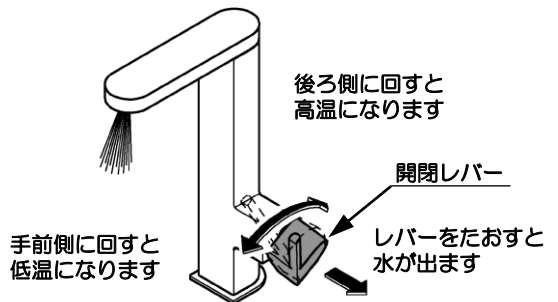
## サイドレバータイプの開閉および水量調節

### 【開閉および水量調節】

- レバーを外側に倒して → 水が出ます
- レバーを内側に戻して → 水が止まります

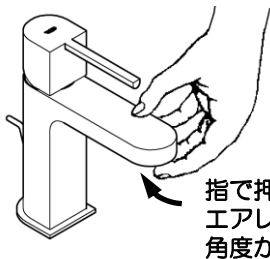
### 【温度調整】

- レバーを後ろ側に回して → 湯(高温)になります
- レバーを手前側回して → 水(低温)になります

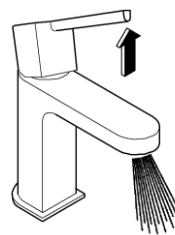


## エアレーターの調整

1. 水を出したい方向からエアレーターを指で押します。



2. 吐水し、水が出る角度が変わったことを確認します。

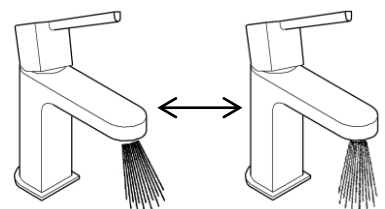


### 注意

- ・角度調整エアレーターはプラスチック製ですので、取り扱いにご注意ください。
- ・適切な位置に水がくるよう調整した後は、水栓を止水状態にしてください。
- ・設置環境・時間の経過により角度が変わる場合があります。

### ポイント

ご使用の洗面器に合わせて角度の調整をすることができます。

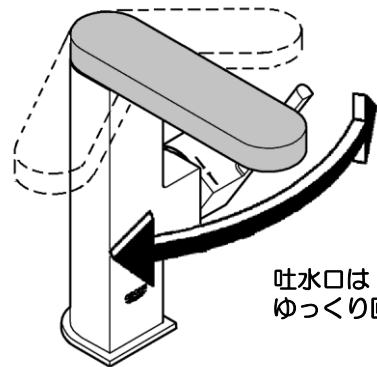
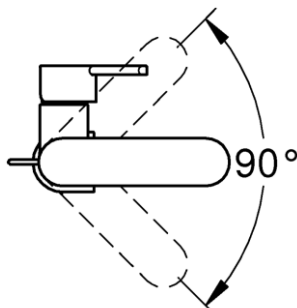


# ご使用方法

## 吐水口の回転

サイドレバータイプ・Mサイズの水栓の吐水口は、左右に回転することができます。

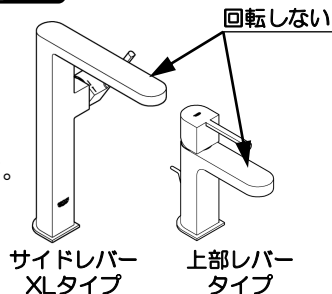
回転角度は、左右に45° ずつです。



吐水口は  
ゆっくり回転させます

### 注意

上部レバータイプ、  
サイドレバータイプXLサイズの  
水栓の吐水口は回転しません。  
※無理に回転させたり乱暴に扱うと、  
器具のゆるみで家財などを破損し  
財産損害発生のおそれがあります。



### 注意

・吐水口の回転操作を乱暴に行うと故障や事故を  
起こすことがあります。ゆっくり操作してください。  
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれ  
があります。

## 排水栓の操作

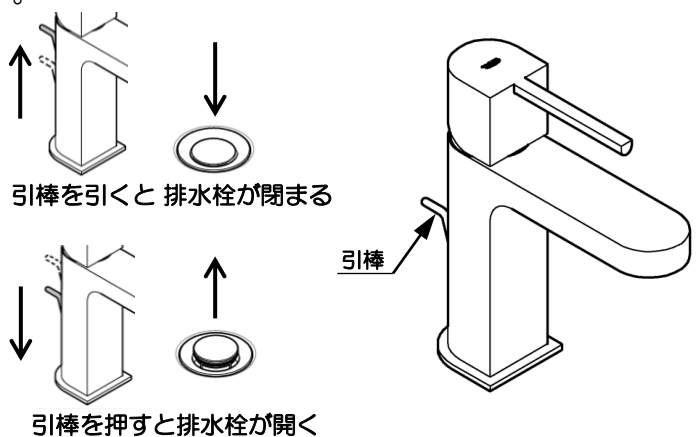
洗面ボールにポップアップを使用されている場合は、引棒を上下することにより水を溜める・排水の切り替えを行うことができます。

引棒を…

- 上に引く → 排水栓が閉まる
- 下に押す → 排水栓が開く

### 注意

・引棒はゆっくり動かしてください  
※排水栓の急閉止は破損や接続部分のゆるみの  
原因になります。  
・引棒操作に違和感がある場合、配管等と干渉し  
ている恐れがあります。  
施工説明書をご確認いただくとともに、販売店や  
据付業者へご相談ください。



## 冬期凍結の恐れがある場合

凍結が予想される際は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。(一般地仕様の場合)  
寒冷地仕様の場合は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。

※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。破損の状況によっては有料の本体交換になる場合もありますのでご注意ください。

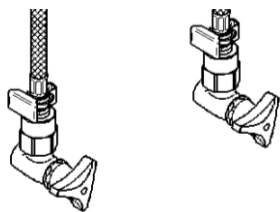
### 注意

凍結が予想される場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

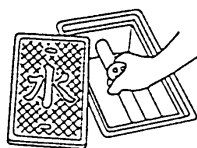
- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 水栓や配管部などに保温材を巻く。

## 寒冷地仕様の場合

1. 逆止弁が付いていないことを確認してください。  
(寒冷地用には逆止弁は付属していません)



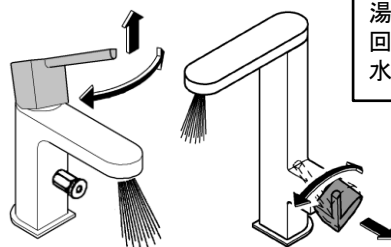
2. 屋外の給水栓を閉じ、不凍栓を開放してください。



### ポイント

給水管を通じて、水栓内に残った水が抜けます。

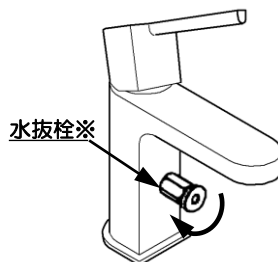
3. 水栓の開閉レバーを開栓してください。



### ポイント

湯側・水側へレバーを回し、水栓内に残った水を出し切ります。

4. 【洗面水栓の水抜き栓付属タイプのみ】  
水抜き栓を開け、水栓内の水を出し切ります。



### 注意

- ・水抜き栓は無くさないようにご注意ください。
- ・再通水時は、必ず水抜き栓を取付けてから通水してください。

### 注意

※水栓内の水は配管へ流し、ドレンバルブ等で開放してください。

※水抜けが悪い場合は、吐水口の整流器を外してください。

※冬期、水栓内部の水が凍結すると、本体部分および部品が破損する可能性がありますので必ず水抜きを実行してください。

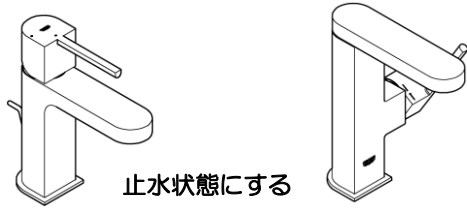
※水抜き操作後は必ず水栓のレバーを閉栓してください。

# お手入れ方法

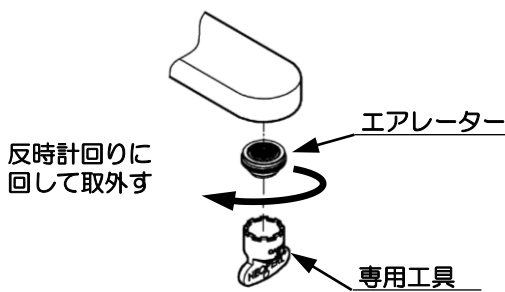
## エアレーターの清掃

吐出量が少なくなった場合はエアレーター(整流器)のゴミ等詰りが考えられます。  
ご使用の水栓に合った説明をご確認のうえ手順にそって清掃をしてください

1. レバーハンドルを止水状態にします。



2. 専用工具を使用し、エアレーターを反時計回りに回して取外してください。



### 注意

※エアレーターの掃除をする際は、ストレーナーをゆるめる前に必ずレバーを止水状態にして行って下さい。  
※エアレーターを掃除する際は、排水栓を閉じて行って下さい。  
※改善しない場合はエアレーターの交換が必要になります。  
※引き渡し間もない場合、工事で使用したシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

3. エアレーターのゴミを取り除きます。



### 注意

・清掃後は、専用工具を使用して、確実にエアレーターを取付けてください。  
・設置直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

# 日常のお手入れ

## 本体表面のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤を含ませた布で、拭き取ってください。  
そのあと水でぬらした柔らかい布で水拭き後、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。
- メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分水洗いしてください。

### 注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

※ヒビ割れや変色の原因となります。  
まちがって使用した場合はすぐに水洗い等をし、柔らかい布でしっかり拭き取ってください。





## 定期的な点検

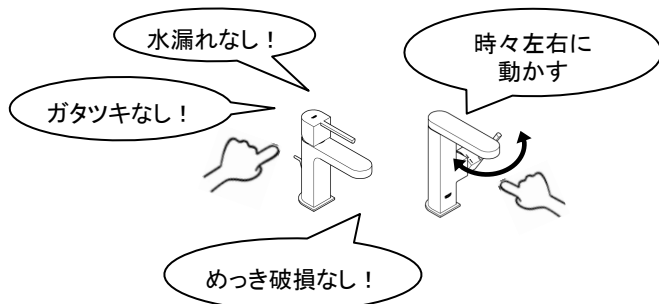
安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

### 水栓のガタツキ(1カ月に1回程度)

- ◎水栓のガタツキがないか確認してください。  
ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### めっき部分の破損(1ヶ月に1回程度)

- ◎めっき部分の破損がないか確認してください。  
劣化・摩耗などによって生じるめっき表面の割れで、ケガをするおそれがあります。

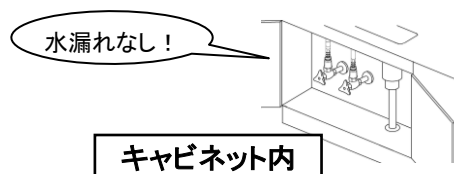


### 吐水口の回転(1ヶ月に1回程度)

- ◎時々吐水口を左右に動かしてください。  
吐水口を長期間回転させずにご使用になると回転部に水アカ等が付着し、回りにくくなることがあります。  
また無理に回そうとすると水漏れの原因になります。

### 配管まわりの水漏れ(1ヶ月に1回程度)

- ◎配管まわり(キャビネット内)の水漏れがないか確認してください。  
部品の劣化・摩耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検をおこなってください。



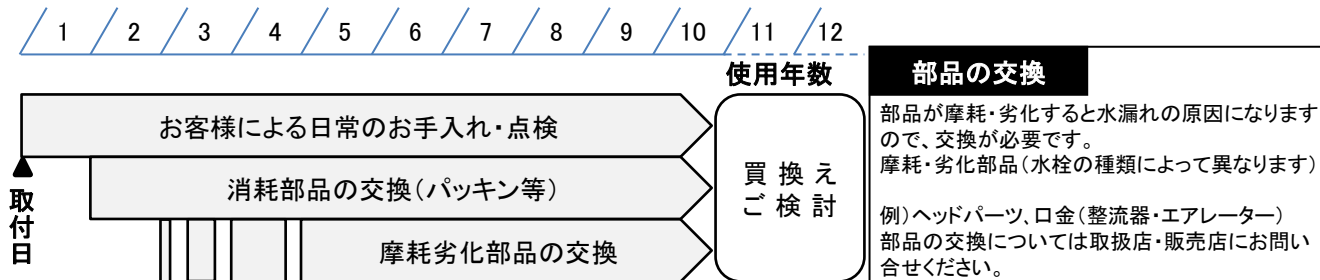
## 修理を依頼される前に

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
●吐水量が少ない (少なくなってきた)	①配管内のゴミ等が整流器(エアレータ)にたまってきた。 ②給湯器の温度設定が不適切である。	(1) 吐水口先端の整流器(エアレータ)にゴミ等が詰まっていないか確認してください。 ※上記「エアレータの清掃」をご参照ください。 (2) ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
●適温の温度調節がスムーズに出来ない	③配管内のゴミ等が整流器にたまってきた。 ④給湯器から十分なお湯がきていない。 ⑤水または、湯のいずれかの圧力(勢い)が強過ぎる。	(3)上記同様、整流器(エアレータ)にゴミ等が詰まっていないか確認してください。 (4)給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。 (5)湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 ※以下の方法で調整してください。 1. 湯側レバーをいっぱいに出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 水側レバーをいっぱいに出し、湯側いっぱいの位置の吐水量と同じか、または1.5倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
●水の量が多すぎて使いづらい ●使用時に高い音がする	⑥水の圧力(勢い)が強過ぎる。	(6)上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
●完全に止水できない	⑦内部ヘッドパーツにゴミ等が付着、または破損している。	(7)販売店、据付業者、またはサービスセンターに連絡してヘッドパーツを点検、または交換する。
●吐水口回転部より水が漏れる	⑧吐水口オーリングにゴミ等が付着、または破損している	(8)販売店、据付業者、またはサービスセンターに連絡して点検、または本体交換する。

※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店、または当社サービスセンターへご相談ください。  
※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

## 定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

### ◆定期的な点検・部品交換のめやす



### 補修部品の供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。  
なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店にお問い合わせください。

## アフターサービスについて

### ◆修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、またはグローエサービスセンターに修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番(保証書または取扱説明書)
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問日

### ◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター  
0570-666-368

受付時間 平日9:30~17:30(受付・お問い合わせ)  
平日夜間・土・日・祝日24時間(漏水等緊急時のご相談のみ)

### シングルレバー洗面、キッチン混合栓 一般地用

品質確認 実施工場	グローエジャパン 株式会社 検査試験室
認証登録番号	C-85
特記事項	なし

### シングルレバー洗面、キッチン混合栓 寒冷地用

品質確認 実施工場	グローエジャパン 株式会社 検査試験室
認証登録番号	C-87
特記事項	寒冷地用(耐寒性能適合品) 「寒・逆止なし」

本社

〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

TEL 03-6748-1180 FAX 03-6748-1181

大阪営業所

〒541-0057 大阪市中央区北九宝寺町4-3-5 本町サミットビル3階

TEL 06-4708-6340 FAX 06-4708-6485

GROHE JAPAN ホームページ

<https://www.grohe.co.jp/>

**グローエジャパン株式会社**